

前期終業式（9.28）

今日は、授業を5時間実施した後で、表彰式と後期生徒会役員の認証式および前期の終業式がありました。校長講話の要旨を掲載します。

みなさん、こんにちは。

【華道部より：今月の花】

ただいま生徒会長を含め7名の生徒会役員の認証を行い、新役員から、生徒代表として力強い抱負を述べてもらいました。活躍を期待します。生徒の皆さんも、役員とともに、本校生徒が目指すべき「誠実・剛健・進取」を具現できるよう協力して下さい。



表彰を受けた生徒の皆さん、おめでとうございます。どのような大会であっても、優勝やそれに準ずるような上位の成績を収めることは簡単なことではありません。今回、全国大会を含めて多数の生徒が活躍していることが確認できて嬉しい限りです。今回表彰された皆さんは、自信を深めるとともに、誇りを持って下さい。一方で今回勝ち取った「栄光は一瞬」だけのことです。結果が出るということは、それは既に過去のものとなるということでもあります。下妻一高生には、現状に満足せず、更に高いレベルに自分をひきあげることを目指してほしいと思います。

さて、今日で前期が終了します。ここで4月からの6ヶ月間の生活を振り返ってみて下さい。学習や部活動への取組みはどうでしたか。本校の掲げる「文武不岐」の精神に恥じないような納得できる結果が得られましたか。うまくいかなかった場合、原因はわかっていますか。もしかすると、心や身体に疲れが残ったまま悩んでいませんか。何か気になることがあれば、立ち止まって改善策を考えることも必要です。

現在進行中の自分の思考や行動そのものを対象として認識することにより、自分自身の認知行動を把握すること、自分の認知行動を正しく知ることを「メタ認知」と呼んでいます。自分の行動や心理状態について、客観的に批評したり評価することで、次にとるべき行動や修正点を考えることができるのではないのでしょうか。ただ悩んでいるだけでは解決できないことも、他人の目で自分を見ることで解決の糸口が見つかるかも知れません。さらに、信頼できる友人や本校の教師に相談することも有効だと思います。心をリフレッシュして後期も充実した高校生活が送れるよう祈ります。

※参考【メタ認知の定義】

Knowledge Monitoring Ability（知識を監視する能力）

Knowing about knowing（知っているということを知っていること）

Cognition about cognition（認知していることの認知）

Understanding what I understand（自分の理解していることを理解すること）